

外 房 新 聞

平成 21 年 12 月 20 日 (日)

ウミガメの棲める青い海と

白い砂浜を……

ウミガメ倶楽部で小中生用に啓発CD配布

ウミガメ

の保護と育成を考へる会「ウミガメ倶楽部」(椎野瑞穂会長)で、絶滅危惧種であるウミガメの保護と環境保全を訴へる啓発CDを安房地方の三市一町の教育委員会を通じてすべての小中学校に配布した。



ウミガメ倶

楽部は、平成十八年設立、以来ウミガメ類の効果的な保護対策を研究提示することを通じ、海浜や海洋の保護に寄与す

るための運動を進めてきた。また、鴨川シーワールド

との連携によるウミガメ観察会やNPO団体との共催で学習会なども開い

ている。

今回作成したCDは、学校教育の場で環境問題を考えるきっかけにと、安房地方の各教育委員会を訪れ、ウミガメの取り巻く環境の現状を訴へるとともに、CDを活用した教育活動の展開を依頼した。

CDを受取った鴨川市の長谷川教育長は「日本の渚百選である鴨川の海岸は、本市の宝でもあります。ウミガメの学習を通じて、子どもたちがきれいな海と砂浜を自分たちの手で守っていく気持ちを強く持ってくれることを期待しています。」とCDを受取った。

なお、同会では、地元である鴨川市内の二つの小学校でウミガメについての授業も行なう計画を立てている。

(写真は、長谷川教育長にCDを贈る椎野会長―右)